

新武蔵野クリーンセンター（仮称）

第四期施設・周辺整備協議会 作業部会資料

平成28年8月23日
緑町コミュニティ協議会

委員長 平田 昭虎
副委員長 山崎 君枝
副委員長 越智 征夫

現在のクリーンセンター北エリア周辺は、野球場、テニスコートと大人のスポーツ施設が、金網フェンスで仕切られ、わずかな隙間に遊歩道が通り空いた土地は、腰高の植木で覆われ、子供の遊び場は、ただ一つのジャングルジムしかない。子供には窮屈な環境にあり、大人を優先した施設となっているのが現状です。

新クリーンセンター（仮称）ごみ焼却施設がここの地に継続稼働するであれば、スポーツを楽しむ人、地域住民の子供たちが、のびのびと遊び回れるなど、大人も子供も楽しめるバランスを取れた、公園に整備して、全市民が誇れる武蔵野の環境に溶け込め、且つ周辺住民の気持ちを組み入れた、周辺整備のまちづくりとなるようなエリア整備を提案します。

- ① 現在のふれあい公園の腰高の植木を撤去して、土地は空間にして、子供が遊び走り回れる空間とする。また、地域の住民がお祭りや、イベント行事でテントが設置できるスペースを設置する。更に緑町コミセンとの境を取り払い地域活動が、盛んに出来る改造にする。
- ② 現在の仮設テニスコート臨時駐輪場の空間をそのまま残し、緑町コミセンのイベント例えばフリーマーケットのテント設置が出来る。スペースに相互活用をする。
- ③ 緑町コミセン前の歩道を拡幅して、歩行者の安全確保を改善すると共に、クリーンセンターエコプラザと緑町コミセンとが相互利用ができるようにする。現在もテニスコート利用者が、緑町コミセンのトイレの利用や天候の急変で雷雨襲撃などの時は、避難場所として活用している。

以上

木村浩参事様

ムーバス運行の件について 〈新クリーンセンターと連動して〉

新クリーンセンターが完成したら見学をしたい多くの市民の中に、
不便な地域の市民の方々から「市役所行き」のムーバスを運行して
下さいとの声があります。(特に梅堤・境・菊町・東町)

意見

- 市内バス交通空白を解消するのは、現在のムーブスの在り方が良く
「これしかない」と市内本部が言うのであれば、協議会で説明して下さい。
- ムーバス停留所の再調査・ムーバスルートの新検討。
- 来て見ていただきたい「新クリーンセンター」へ便利なムーバスを利用することで
今後のエリア整備・エコプラザ施設の再利用の具体的な方向性と
連動する可能性を含むのではないか。

H28. 8月5日

委員 岡田 敬一